

令和5年度 前期日程 入学者選抜学力県検査問題 歴史（日本史） 解答例

解答例

I 歴史学科以外の他学科：各3点（合計60点）、歴史学科：各6点（合計120点）

- 問1 平忠常の乱 問2 安倍 問3 平治の乱 問4 中尊寺金色堂
問5 蘭溪道隆 問6 新田義貞 問7 古河（下総古河） 問8 鎮西探題
問9 中先代の乱 問10 足利義教
問11 民党 問12 超然主義 問13 山県有朋 問14 日本労働総同盟
問15 賀川豊彦 問16 全国水平社 問17 小林多喜二 問18 北一輝
問19 統制派 問20 軍部大臣現役武官制

II []内は他学科配点（合計70点）、歴史学科は2倍点（合計140点）

- 問1 風土記（常陸国風土記）〔3点〕 問2 貝塚〔3点〕
問3 海進により海岸線が移動した。〔5点〕
問4 出羽〔3点〕 問5 健児〔3点〕 問6 郡司〔3点〕 問7 衛士〔3点〕
問8(d)③〔2点〕 (e)⑦〔2点〕 問9 伊治皆麻呂〔3点〕
問10 朝廷に仕えるべき兵士たちを国司や軍毅が不当な理由で私的に使役していた。〔5点〕
問11：大君〔3点〕 問12：間部詮房〔3点〕
問13：金銀含有率を下げた元禄金銀によって物価上昇が引き起されたため、慶長金銀と商品位に戻した正徳金銀を鑄造して物価の騰貴をおさえようとした〔7点〕
問14：海舶互市新例〔3点〕 問15：新井白石〔3点〕
問16：石見（大森）銀山〔3点〕
問17：対馬藩は朝鮮との貿易を、松前藩はアイヌとの交易を、薩摩藩は琉球を介した中国（清）との貿易を、それぞれ独占して巨額の利益を上げていた。〔6点〕
問18：村田清風を登用して財政改革や紙・蠟の専売制の改革を行い、さらに越荷方を設けて下関に寄港する廻船に対する金融や積み荷の保管を行わせ、大きな利益を上げた〔7点〕

III、IV 各70点

(A) 本問は、室町時代後期から戦国期にかけての文化の地方への普及の特徴を論述させる設問である。文化普及の経緯やその意義を正確に理解した上で、提示されているキーワード（重要な用語）を用いてそれを論理的に論述できているかどうかを評価の目安としている。地方の文化の進展の背景、都（中央）との関係、さらに地域や社会に及ぼした影響などが理解できているかがポイントとなる。

(B) 近世中後期の洋学の展開について、当時の社会への影響を視野に入れて理解できているかを問う問題である。なお、論述にあたって手がかりとなる語句を提示して問い、以下の

論点を理解できているか確認した。

具体的には、①18世紀後期、洋学を取り入れた医学では杉田玄白らが『解体新書』を完成させた。その後、稲村三伯が蘭日辞書の『ハルマ和解』を作った。②西洋画では、司馬江漢が平賀源内に学んで銅版画を創始した。③19世紀前期、幕府は天文方に蚕書和解御用を設け、高橋景保を中心に洋書の翻刻にあたらせる。④19世紀中期、オランダ商館医シーボルトは長崎郊外に鳴滝塾を開き人材を育てた。⑤しかし、これら洋学の研究は、シーボルト事件や、渡辺崋山や高野長英がモリソン号事件の幕府の対外政策を批判し蚕社の獄として処罰されるなど、医学・兵学・科学技術などの実学としての性格を強める。⑥藩政改革などにより、薩摩藩や佐賀藩では反射炉を築造し、造船所や大砲製造所を設け様式軍事工業の導入を図り、雄藩として幕末に登場していく。

以上の6つの特徴を関連付けながらその過程・関係性を正確に理解できているかどうかを問うた。

(C) 本問は、連合軍の占領下で行われた非軍事化・民主化について、戦前の国家体制がいかに変容したかをふまえて論述できるかを問うものである。指示した語句を使用しながら、何がどう変わったのかを説明し、歴史的文脈の中に位置づけて論述することが必要となる。その意味で、戦前の国家体制の特色を正確に把握しているかどうかも評価の対象となる。あわせて、語句説明の羅列ではなく、筋道をたてて全体を構成する論理展開の力も問うている。

出典一覧

大問2の出典は以下のとおり。

- (A) 『塵袋』 第五
- (B) 『類聚三代格』 卷18 792 (延暦11) 年6月7日勅
- (C) 『類聚三代格』 卷18 792 (延暦11) 年6月14日太政官符
- (D) 新井白石『折たく柴の記』
- (E) 太宰春台『経済録拾遺』

解答例

1

- 1.突厥 2.ネストリウス派キリスト教(景教)・ゾロアスター教(祆教)・マニ教 {ほか仏教}
- 3.キルギス 4.遊牧民だったトルコ人が定住化しイラン系先住民がトルコ語を話すようになる
- 5.751 6.サーマーン 7.ウズベク 8.バーブル 9.アクバル 10.イスラーム・ヒンドゥーの融和政策、ヒンドゥー教徒の登用、人頭税(ジズヤ)の廃止 11.リスト
- 12.大ドイツ主義はオーストリア領内のドイツ人地域とベーメン(ボヘミア)を合わせて統一する構想、小ドイツ主義はオーストリアを除外してプロイセンを中心にドイツ統一をはかろうとする方針 13.シュレスヴィヒ・ホルシュタイン 14.コシュート
- 15.クリミア 16.セルビア {ほか} 17.モンロー 18.メキシコ遠征 19.米州機構 20.キューバ、カストロ 21.ヨーロッパ諸国がアメリカの植民地に奴隷貿易で連れ去ったから 22.デュボイス 23.アパルトヘイト

配点 他学科：問2・10は6点、問4・12・21は4点、それ以外は2点。2点×18問+6点×2問(問2・10)+4点×3問(問4・12・21)=60点。

歴史学科：上記計算式に係数2をかけて、120点満点とする。

2

- 1.銅鼓 2.扶南 3.オケオ 4.草市 5.商人：行／手工業者：作
- 6.交子 7.市舶司 8.朴正熙 9.九・三〇事件 10.光州事件
- 11.コイネー 12.ストア 13.ムセイオン 14.アヴィニョン
- 15.バビロン捕囚 16.シスマ 17.異端審問 18.ダンテ
- 19.ウェルギリウス 20.ホメロス

配点 他学科：2点×20問=40点 歴史学科：4点×20問=80点

3

配点100(他学科・歴史学科とも100点満点)

(A) 出題意図

個々の事件や現象の説明の羅列ではなく、キリスト教の発展・定着を論述の主題として、論理的に文章が展開しているかどうかを問うた。

(B) 出題意図

14世紀にはいるとユーラシア全域に天災が続き、13世紀半ばには中国からロシアに至る広大な領域に広がったモンゴル帝国が解体へと向かうこと

キプチャク=ハン国によって「タターのくびき」と呼ばれる支配を受けていた南ロシアではモスクワ大公国が次第に勢力を伸ばしたこと

中国では白蓮教徒による紅巾の乱などの反乱が全国各地で起こった結果、元は明に首都大都を奪われてモンゴル高原に退き、残存勢力によって北元が建てられたがほどなくして滅亡すること

以上の諸点についての論理的な理解を問うた。

4 配点 100 (歴史学科のみ)

(A) 出題意図

個々の事件や現象の説明の羅列ではなく、「大航海」事業の動機・発展を論述の主題として、論理的に文章が展開しているかどうかを問うた。

(B) 出題意図

17 世紀末のネルチンスク条約によって清とロシアの国境が定まり交易がおこなわれていたこと

19 世紀半ばにアヘン戦争やアロー戦争でイギリスなどに敗戦し、不平等条約を結ばされるなど清の弱体化が進んでいくこと

ロシアも東シベリア総督のムラヴィヨフのもとで中国への圧力を強化し、1858 年にアイグン条約を結んで黒竜江以北を支配し、1860 年には北京条約を結んで沿海州を獲得し、不凍港であるウラジヴォストーク港を開いて太平洋進出の根拠地としたこと

以上の諸点についての論理的な理解を問うた。

合計点 他学科：60+40+100=200 点満点

歴史学科：120+80+100+100=400 点満点